

三菱広域侵入検知センサ“ MELWATCH ”

猪又憲治*
平野一磨**
藤原 潤**

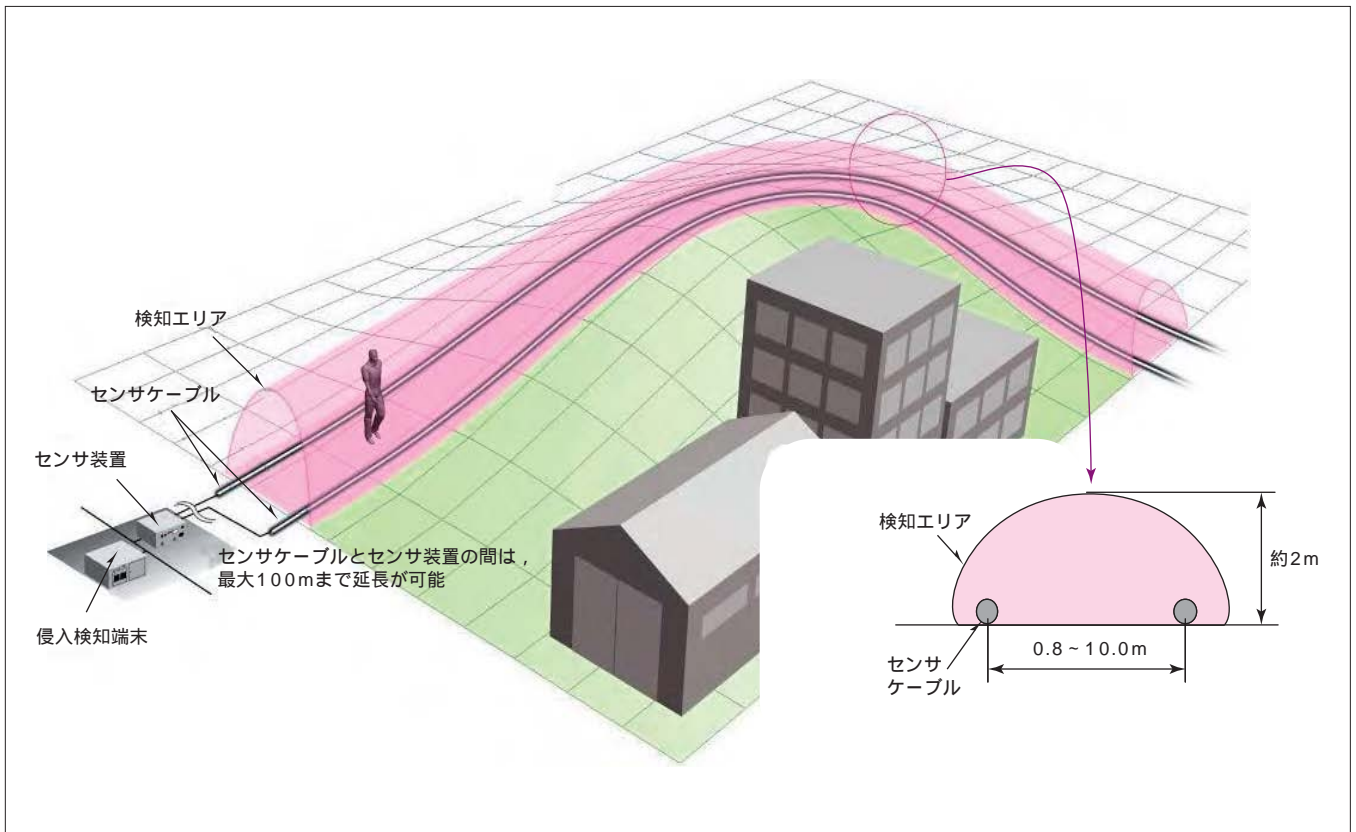
Mitsubishi Wide Area Intrusion Detection Sensor "MELWATCH"

Kenji Inomata, Kazuma Hirano, Jun Fujiwara

要 旨

2001年の米国における同時多発テロ以降、日本国内でのセキュリティ認識は急速に高まり、特に物理セキュリティに関しては、従来行われていた空港、電力設備、産業プラントなどの重要施設はもちろん、一般企業、商業施設、公共施設など様々な施設で導入が進められている。従来、物理セキュリティの対象は、施設の入退出管理が主流であったが、社会的影響の大きい施設を中心に施設敷地の外周ま

で含めた統合監視が主流に変わりつつある。三菱広域侵入検知センサ“ MELWATCH ”は電波を用いて侵入を検知し、高い警戒能力(検知性能)に加えて、侵入位置特定も可能な高機能センサであると同時に、監視範囲や設置の柔軟性、他の監視システムとの容易な接続性も合わせ持つユニークな屋外型の外周監視センサである。本稿ではMELWATCHの機能、特長について述べる。



MELWATCHの概念図

警戒ラインに沿って張った2本のセンサーケーブルで物体の侵入を検知する。検知エリアは電界による密な立体空間で形成されるため、高い警戒性能(検知性能)が得られる。また、±5mで侵入位置を特定でき、フレキシブルなセンサーケーブルによって敷設地形に柔軟に対応できる。